

平成27年度 事務事業評価シート

事業の概要	事務事業名	音楽振興事業					担当部	教育委員会事務局			
	会計区分	一般会計		事業類型	実施計画事業		担当課	文化振興課			
	事業期間	平成14年度		～	平成31年度以降		担当係	文化振興係			
	総合計画 分野別計画	主目的	4 教育文化		15 文化振興		1 市民が文化芸術に親しめる機会を充実します				
		副目的	15-2					実施計画対象	○		
	予算区分	款	10	項	5	目	5	大	3	中	2
	根拠法令・個別計画	小牧市文化振興ビジョン									
	目的 (対象をどの様な状態にするのか)	音楽講座等を通して、音楽の歴史・時代背景・地域性・楽器等について学ぶことにより、市民の音楽への関心を高めるとともに、音楽鑑賞の幅を広げ音楽愛好者の拡大を図る。									
	内容 (手段)	<p>◆26年度実施内容・直接経費の内訳</p> <p>○音楽鑑賞講座(委託料:3,159千円) 名古屋芸術大学と連携して、生演奏とレクチャー形式の3回の講座を実施し、幅広いジャンルの音楽をあらゆる角度から解説を交えながら演奏を楽しむ内容とした。また、中部フィルハーモニー交響楽団の企画・運営により指揮者が講師を務めるクラシック鑑賞講座を提供した。</p> <p>○サンデーコンサート、ふれあい音楽広場等(講師謝礼、印刷製本費、役務費:939千円) 市民団体(ポルタメント小牧)との協働により各市民センターで年5回のサンデーコンサートと1回のモーニングコンサートを実施した。毎月第1日曜日の昼に味岡市民センターロビーを利用したふれあい音楽広場を実施した。職員は、出演者との日程、曲目、演奏順等を調整するとともに機材の配置、転換、照明、音響等について舞台技術者と調整、チラシ作成、事前PR、プログラム作成、コンサート当日の運営を実施。</p> <p>○オーケストラ演奏鑑賞事業(委託料:26,669千円) 小学校8校、中学校3校に対して本格的なオーケストラによるコンサートを学校で行い、児童生徒がクラシックを身近に感じ音楽への関心を高めた。職員は、学校からの日程・演奏曲目等の要望をとりまとめ、中部フィルと演奏会に向けて調整し、プログラムの印刷を行った。また、幼稚園11園、保育園19園を対象に中部フィルハーモニー交響楽団によるアンサンブル演奏を提供した。</p> <p>○第九演奏会開催準備委託事業(委託料1,681千円) 市制60周年を迎える平成27年5月10日の実施に向けて、合唱参加者198名を募集し、公民館や市民センター等で合唱練習を26回実施した。</p> <p>○音楽指導(委託料:6,877千円) 市内小中学校・高等学校へ中部フィルハーモニー交響楽団の楽団員・指揮者を派遣し技術指導を実施した。職員は、学校からの日程等の要望をとりまとめ中部フィルと調整した。</p> <p>○消耗品費(37千円) ○中部フィルハーモニー交響楽団支援委員会会費(負担金:3,000千円)</p> <p>◆27年度実施内容・直接経費の内訳</p> <p>・音楽鑑賞講座(委託料:1,100千円) ・サンデーコンサート等(講師謝礼、印刷製本費、役務費:1,932千円) ・オーケストラ演奏鑑賞事業(委託料:26,675千円) ・第九演奏会開催事業(委託料:6,200千円) ・音楽指導(委託料:7,000千円) ・消耗品費等(40千円) ・中部フィルハーモニー交響楽団支援委員会会費(負担金:3,300千円)</p>									
	受益者負担	有	音楽鑑賞講座1,540円×215人=331,100円、1,030円×85人=87,550円、770円×3人=2,310円 クラシック鑑賞講座2,060円×62人=127,720円、1,030円×115人=118,450円 510円×9人=4,590円								

コスト	費用	項目	単位	H24決算額	H25決算額	H26決算額	H27予算額
			直接経費	千円	45,626	40,638	42,363
正職員	従事者数	人	0.20	0.20	0.20	0.20	
		人件費	千円	1,052	1,052	1,052	1,052
	その他職員	従事者数	人	1.00	1.00	1.00	1.00
		人件費	千円	2,563	2,163	2,213	2,296
費用合計		千円	49,241	43,853	45,628	49,595	
対前年比		%		89.0	104.0	108.6	
財源	一般財源	千円	47,740	42,777	44,983	48,869	
	国・県支出金	千円	0	0	0	0	
	その他財源	千円	1,501	1,076	645	726	

業	活動指標名	単位	H24	H25	H26	H27
	音楽鑑賞講座	回	目標	5	8	6
		実績	9	8	6	
音楽指導申込学校数	校	目標	—	—	—	—
		実績	24	20	22	
派遣楽団員・指揮者数	人	目標	—	—	—	—
		実績	396	413	442	
績	成果指標名	単位	H24	H25	H26	H27
	音楽鑑賞講座受講者数	人	目標	300	300	300
		実績	296	290	278	
サンデーコンサート来場者数	人	目標	1,400	1,200	1,300	1,200
		実績	1,047	1,140	1,299	

事業の自己評価	平成26年度の実施結果	事業の達成状況	音楽鑑賞講座は受講回数を5回から3回に見直し、回数を減らしたが、受講者数は目標を達成できず、下降気味となった。しかしながら、本格的な演奏と大学教授や指揮者によるレクチャーは、貴重な体験となる講座である。 サンデーコンサートは、多様なプログラムを企画し実施したところである。会員で集客のPRをしているが、来場者数は1,100人前後と平行である。 オーケストラ演奏鑑賞事業は、小牧市文化事業の特長のひとつであり、子どもへの情操を育むよい機会となっている。また、部活動や音楽授業における音楽指導事業により、小中学生・高校生のレベルアップが図れた。 若手演奏家育成事業、アマチュア演奏家合同演奏会、第九演奏会の3事業で、3年周期で1つずつ実施してきたが、平成24年度のジュニアソリストコンクールを最後に、3年周期での実施を廃止して、第九演奏会のみを5周年事業とした。			
		事業実施における課題	音楽鑑賞講座・サンデーコンサートにおいては、プログラムや集客PRのあり方を見直し、普段、音楽にふれる機会のない対象または世代をいかに取り込んでいくかが課題である。また団体の活動が引続き、発展するように支援していく。 音楽指導は、学校の希望する日程と楽器が学校間で重複するため調整が困難であるが、協力や理解を得ながら連携して事業を進める。オーケストラ演奏鑑賞事業がマンネリとならないため、プログラムについて協議する必要がある。			
		事業を縮小・廃止したときの影響	音楽の歴史や背景を学ぶ上で、本格的な音楽を聴くよい機会が失われるほか、演奏家同士の交流や地域との交流が停滞する。市民に対しても無料で気軽に楽しむ機会がなくなるとともに身近でプロの本格的な生の演奏を聴く機会を失う。 音楽指導事業は、子どもたちに対して高度な音楽指導が果たせなくなる。			
		平成27年度における事業の改善・見直し内容(新規追加事項、廃止・削減事項等)	講座やプログラムの内容及び集客方法やPR方法を見直し、改善を検討する。具体的には、ホームページやフェイスブック、ツイッターなどを活用していく。また、チラシの配布先を市内外施設へも広げ、市外への発信PRに努めていく。 ポルタメント小牧により、試行で実施したモーニングコンサートを継続実施し定着させる。			
平成28年度の事業の方向性	方向性の判定	維持	事業のボリュームを現状規模で維持すべきもの(対象や手段を見直す場合も含む)			
	判定理由	音楽鑑賞講座は、受講生が音楽の魅力を理解し知識を蓄え、継続的に音楽に触れられる体制を推進する必要がある。 サンデーコンサートは、市と団体との協働によりコンサート内容を改善しながら集客に努め、実施していくことが望ましい。 オーケストラ演奏鑑賞事業及び音楽指導は、可能な限り学校の希望を反映させることで、より効果的に事業を進める必要がある。				
	28年度以降の改善案	音楽鑑賞講座は、委託先を含めて講座内容を高める方法とともに、PR方法においては、ホームページやフェイスブック、ツイッターなどを活用して広げていく。 サンデーコンサートは、ポルタメント小牧の会員を増やし、会員とともに演奏内容はじめ、PR方法もホームページやフェイスブック、ツイッターなどを活用して広げていく。 オーケストラ演奏鑑賞事業・音楽指導は、子どもの頃からクラシック音楽に親しみ、興味を持てるようプログラム内容や指導方法を工夫し、可能な限り要望に対応しながら小中学生・高校生のレベルアップを図る。				

二次評価	方向性の判定	判定理由
	縮小	引き続き事業を継続しながらも、費用に対して参加者数は十分か、参加者が固定化している事業になっていないか、受益者負担は適正か等についてより詳細に検証し、事業目的の達成に向けて効果の低い小事業については、廃止を含めて見直すなど事業の取捨選択に向けた検討を行うこと。 また、本事業の講座については、25年度に実施した経営分析の結果を基に改善に取り組むこと。